

平成 28 年度第 1 学年

標準学力テスト（平成 28 年 12 月 2 日実施）の結果について

新見市立哲多中学校

1 到達度について

教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語 A
本校平均	66.2	62.3	70.3	59.3	59.1
新見平均	63.4	56.3	62.7	59.0	56.7
全国平均	63.9	54.4	60.4	56.7	61.2

2. 各教科ごとの分析

教科	すぐれている点 改善を要する点	対 策
国 語	・ 漢字を書く能力が高く、小学校で習った漢字を書くことができる。 ・ 漢字を読む能力も高く、第 1 学年までに学習した漢字を読むことができる。 ・ 作文を書くことが得意で、自分の立場を明確に書くことができる。	・ 話すときの工夫を学習し、発表やプレゼンテーションを通して活用する。 ・ 漢字練習を毎日行い、読み書きの能力を引き続き高めていく。
	・ 話す・聞く能力において、話し合いの方向をとらえて、よりよい話し合いにするための発言を理解する力が弱い。	
社 会	・ 全分野で県平均を上回っている。 ・ 基礎がしっかりしており、知識と資料活用技能が優れている。 ・ 我が国の歴史と国土と地域の様子は県平均を 10 ポイント以上上回っている。	・ クイズ形式の問題に意欲的に取り組むので、授業中に I C T を利用しながら、楽しみながら復習をしてさらに基礎を固める。
	・ 社会的な思考・判断・表現の能力は他の 2 観点に比べるとやや弱い。（深く考えて表現することを苦手としている傾向がある） ・ 特に我が国の政治の動きの地方公共団体の働きを理解する力が弱い。 ・ 設問に対する表現の仕方がわかっていない。（理由を問われているのに「～ので」という記述ができていない）	

数 学	・ 1 次式の加減乗除が身についている。 ・ 1 次方程式を解くことや、方程式の文章問題を解くための方程式を立式をすることの理解が全国平均を上回っている。	・ 正の数・負の数の計算を中心に、徹底して計算練習を繰り返し行う。 ・ 式を表し、説明力をつけさせるため、グループでの学習で互いに説明しあい、理解を深めていく。
	・ かっこをふくむ正の数・負の数の減法の計算する力が弱い。 ・ 文字式の表し方にしただって、式を表す問題の正答率が低かった。	
理 科	・ 基礎、科学的な思考、表現、自然事象についての知識・理解とも全国平均を上回っている。	・ 基礎的事項の定着を図るため、小テストを繰り返す。 ・ 計算問題等のドリルを多く行う。 ・ グループで学習しあう場をもうける。
	・ 活用，観察・実験の分野で全国平均をやや下回っている。 ・ 密度や質量パーセント濃度など計算をとこなうものが弱い。	
英 語	・ 語形・語法の知識が全国平均を上回っている。 ・ 内容理解のリスニングと長文の読み取りに優れている。	・ 基本的な復習を繰り返し行いながら、基礎基本の定着をはかる。 ・ 既習事項を使った自己表現の活動を増やし、表現力を高める。
	・ 単語を正確に書くことができない。 ・ 文脈を聞き取る力が弱い。 ・ 英文を用いて意欲的に自分自身を表現する力が弱い。	